

京都市男女共同参画計画(案)の

パブリックコメント(市民意見募集)が始まっています。関係する団体や研究者、市民などで構成される「男女共同参画審議会」でジェンダー平等の視点の意見なども出され、修正もされてきたものと評価していますが、より実効力がある計画となるよう市民の皆さんから、ご意見をお寄せください。

募集期間は：4月19日～**5月24日(月)必着**で

す。

詳しい計画案やパブリックコメントの案内は QR コードや文化市民局共生社会推進室男女共同参画推進課のホームページからも見れます。パブリックコメントはメール、FAXでもOKです。

*2021年3月19日の文化環境委員会で、日本共産党議員団からの質問した内容を紹介しますので、参考にしてください。

●女性の働き方としての変化「M字カーブ」について、解消しつつあると記載されているが、女性の働き方が改善されているのではなく、非正規労働者が増え、問題は深刻化している。

●女性の貧困化問題は深刻。男女の待遇格差はまだまだに解消されていない。多様な働き方には非正規労働として、働かざるを得ない実態をみていく必要がある。

●夫婦別姓についての記載がない。国の課題とは言え、社会的な問題になっていることから何らかの記載をすべきではないか。

●ジェンダーの問題として、同性婚についても記載がない。札幌地裁で、同性婚を認めないのは憲法違反との判決があった。京都市はパートナーシップ宣誓制度を作り、50カップルを超えて利用もされているのに、なぜ、記載をしないのか。(→「人権文化推進計画に記載をしている」と答弁)

●京都市の職員の女性管理職の割合を上げていくには、働きやすさが改善しないと進まない。不妊治療休暇制度を作ったことなどは評価するが、なぜ記載していないのか。生理休暇がほとんど取れていないことは問題。男性の育児休職取得も進んできているが、さらなる努力が必要など……。

第5次京都市男女共同参画計画策定に向けて

Q これらは何の数字でしょう？

①夫の〇〇の時間 ②男性の〇〇の取得率 ③〇〇の被害経験者

84分/日

7.48%

約4人に1人

ヒント：妻は、370分/日

ヒント：女性は、83.0%

ヒント：夫婦や恋人など親密な関係の中で起こるもの。

答えはここの中に・・・



※京都市「真のワーク・ライフ・バランス」実践写真募集キャンペーンに御応募いただいた写真を一部使用しています。

御意見(パブリックコメント)募集中!
「第5次京都市男女共同参画計画」の策定を行っています。

感想や質問、次期計画にふさわしいキャッチフレーズなど、どんな御意見でもOK!!



詳しくは二次元コードのリンクを御覧ください。